

もりんぴあタイムズ

号外

第4回
もりんぴあ
フェスティバル

2016年11月30日発行



芸術の秋、食欲の秋、秋の訪れを告げる「もりんぴあフェスティバル」！！

9月25日(日)、好天の下「第4回もりんぴあフェスティバル」が開催され、楽器演奏やダンスの発表、作品展示や食品の販売などが行われました。入口を入った延べ人数で、昨年の6,244人を大きく上回る10,341人が来場。多くの方々に認知されたイベントになったと嬉しく思います。

9時45分から行われたオープニングセレモニーでは、主催者を代表して、もりんぴあフェスティバル実行委員会から高橋義雄会長、小林順子副会長が挨拶し、お礼の言葉を述べました。

続いて後援の成田市を代表して、成田市市民生活部大木孝男部長にご挨拶頂きました。

そして、特別ゲストの成田市特別観光大使のうなりくん、千葉県のマスコットキャラクター・チーバくん、成田市立公津の杜小学校のマスコットキャラクターもりもりくん、もりもりちゃんの紹介へと続きました。「ゆるキャラグランプリ2016」にエントリー中のうなりくんは投票してもらえるように、猛アピールを行っていました。チーバくんも、会場のドコにいても大人気で、ふっくらとしたカラダに抱き着く子どもが多数。大人も子どもも一緒に写真を撮る人が多く見られました。



オープニングセレモニーはその後、成田市立公津の杜中学校吹奏楽部の生徒2名による開会宣言からファンファーレの演奏へと続き、「もりんぴあフェスティバル」の幕が開きました。

今年開学した国際医療福祉大学からボランティアが参加したり、会場めぐりクイズの賞品に協力して頂いた団体が多数いたり、多くの皆様のご協力により、昨年より大きくパワーアップを遂げています。

開館から丸3年がたち、もりんぴあフェスティバルが市民のみなさんに認知されてきたという、喜びの反面、限りある出場枠や開催中の人手不足などの課題も見えてきました。来年も、更にみなさんが笑顔になれるフェスティバルを開催につなげていきたいと思っております。

サロン特設ステージ

salon



【出演団体】

公津の杜中学校吹奏楽部
アロハ・フラ・ティアレ
アルマーザ
オル・オハナ
ハラウハアフラナヘナヘ
成田キューバンサルサ
アクラム・ベリーダンス
WISH
Pua Maile
バレエ・フラッペ
Hula Lokeiani
コハーイカラニ・フラタヒチ
カパーフラ・クワイ・オ・ピカケ
クッキー
たのしい木極拳
クリエイティブバレエ
フラサークルMokudhi
カレイナニアアラアネラ
ベリーダンスゲゼル

1階サロンに設けられた特設ステージでは、19 団体がフラダンス、ベリーダンス、ヒップホップダンス、バレエ、サルサなどの踊りを披露しました。

特設ステージは小さいながらも、入口の脇にあり、入館した人の目に必ず入り、2階の吹き抜けからも見ることができる絶好の場所にあり、注目度の高いステージになっています。

オープニングセレモニーで開会宣言、ファンファーレを披露してくれた公津の杜中学校の吹奏楽部の演奏から始まり、最後のベリーダンスまで、演技している方は楽しそうに、見ている人も笑顔になるような出し物が続きました。お揃いの衣装や華やかなコスチュームに身を包んでいるので、普段、受付などで接している方々が、見違えるほど鮮やかに見えました。

当館が主催した講座から生まれたサークルも発表を行っていましたが、講座に出ていた頃と比べ、上達した姿に目を見張りました。



ブルーラグーン



15-FIELDS



音のソノリティ

アコードアンサンブル

グリーン・スプリング
バンド

ラウレア
ハワイアンウクレレ



MKバンド

SLOWK

The colors



シニアアロハサウンズ

トリプレット

ウィッシュ・アポン
+・スター



TBQ

Check

ラブレ

MORI×MORIホールでの演奏は、昨年度のもりんびあフェスティバルの2倍となる15団体が出演しました。出演バンドが増えた為、リハーサルの時間が取れず、ぶっつけ本番となったり、演奏時間も長く取れない状況でしたが、大きなトラブルもなく無事に全団体が演奏を終えることができました。

ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・ハワイアンなど幅広い音楽ジャンルがバンドスタイルや管楽器のアンサンブルで奏でられ、年代も大学生からシニア世代まで幅広い年齢層の演奏を楽しむことができました。

当館のスタジオで練習している団体がほとんどですが、スタジオは防音になっているため、中でどんな曲が演奏されているかは聞こえません。この団体はこういう音楽をやっていたのだと知ることができ、想像通りのサークル、意外な曲を演奏する団体など、様々でした。照明の効果やライブというハイテンションの世界感もあってか、受付の際に見せる顔とは、違った凛々しい顔が見られました。

ロビーコンサートとの音の干渉を防ぐために、ホール入口の扉を一部のみ開放しましたが、「分かりにくい、入りづらい」というお声を頂きました。扉全てを開放してもよいのですが、前述のとおりロビーコンサートの音の問題があって、聞きづらくなってしまいます。外の人に演奏内容を分かりやすく伝え、入りやすくするという課題が来年に向けて残りました。

ギャラリーMORI×MORI

【出展団体】

決心会
ワード絵画影の会
音穂会
仮名書道研究会
公津書道クラブ
ほうすおぶあん絵画サークル
マイドール
ホワイトバスケット
片岡書道教室
成田アートフォトクラブ
椿成会
公津の杜なかよしひろば



日頃から公津の杜コミュニティセンターを活動の拠点にされている多くのサークルが、今年もギャラリーMORI×MORI に集結しました。1年間の研鑽が結実し、見事な作品がギャラリーの壁面を飾りました。当日、参加されたのは12のサークル、団体で、「書道」、「フラワーアレンジメント」、「絵画」、「人形制作」、「写真」、「子どもの作品」などなど。

展示の方法も年々思考を凝らしているように見え、うまく配置し多くの作品を展示する団体。シンプルに一点一点を等間隔に展示する団体。作品を相合せひとつの作品のように見せる団体、様々でした。

来場者に作品の作り方などを解説する姿も見ることができ、コミュニティセンターの設置目的である「コミュニティと文化の交流拠点」の一端が垣間見られました。なかには、作品を見て興味を持ち、サークルに入会という方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

次回はどんな作品が並ぶから今から楽しみです。

【出店団体】

GHEETA

社の風

イケちゃんの韓国料理

ひかり輝け！公津商店会

北領賞産売所まこも

のぞみの園

公津の杜小学校PTA

成田ヒスパニックサークル

アーアンドダイ大柴

ル・シャキナル

コープみらい



今年度のフェスティバルのマルシェでは、13 団体が出店しました。

お祭りの定番の焼きそばやフランクフルト、かき氷をはじめ様々な食べ物が販売されました。定番のもの以外にも、煮込みハンバーグや笹おやき、串シューマイ、飛騨牛まん、フレッシュジュースなど趣向を凝らしたもの。何を食べようか目移りしてしまうようなものがたくさんありました。また、とれたての野菜やガーリックオイルなどの販売もありました。

このほか、ケバブ、インドカレーやキムチとチヂミなどの韓国料理、メキシカンスイーツなどもあり、国際色豊かなのも、日本の玄関口 〆なりた。ならでは。

食品のほかにも、ピンボールや缶釣りならぬカボチャ吊り、スーパーボールすくい、くじ引きなどのゲーム各種もあり、子どもたちが入れ代わり立ち代わり挑戦していました。

どのブースも盛況で、午後のはやい時間には完売になってしまうブースも出るほど、多くの方に利用して頂きました。

イベント、講座



館の利用者主催のイベントでは、「英語によるスピーチ実演」「フラワーアレンジメント体験」「成年後見人制度の説明会と相談会」「もりもりの木をつくろう」が行われ、各団体が普段サークルとして活動している内容を体験できるものとなり、会員以外の人に活動の内容を知ってもらえる良い機会になったのではないのでしょうか。

館主催のイベントとして、ふわふわなエアードームの中で本格的なプラネタリウムが体験できる「星たまご」や、かわいい形のクッキーを親子で協力して作る「親子で作ろうクッキー」、いろいろな具材をカップにつめてデコレーションする「親子でクッキング」、世界大会で3位に輝いたバルーンアーティスト大悟さんに教わる「親子 de バルーンアート」が行われ、どれも整理券配布前から行列ができるほど人気のイベントとなりました。

このほか、輪投げやストラックアウトが体験できる「ニュースポーツを体験しよう！」が行われたり、毎月わんぱくルームで開催されている「KOZU-KIDS チャレンジランキング」のスペシャル版など、活気にあふれていました。

また、花苗プレゼントも配布開始時間の前から人が並び始め、あっという間になくなってしまいました。

「会場巡りもりフェスティバル」は、たくさんの団体の協力により、豪華で盛り沢山の賞品が用意され、昨年の2倍近くの方にご応募いただきました。10月15日には、当選者に賞品の授与式が行われました。

図書館コーナー

Public Library



2階 MORI×MORI ホール前では、図書館で使わなくなった本を皆さんに無償でお配りする「リサイクルフェア」を開催しました。今年で3年目になるこの企画、毎年みなさんからご好評いただいています。図書館も張り切って、昨年よりも多くの本を準備して臨みました。

当日は、開始時間前から多くの方にご来場いただき、夕方まで配布会場は賑わいました。一番混雑した時には、集まった人たちの熱気で汗をかくほどの盛況ぶりでした。料理等のレシピを紹介する本や子ども向けの絵本・児童書が特に人気で、お昼過ぎには在庫がほとんどなくなってしまいました。

普段あまり図書館にいらっしやらない方も、常連さんも、それぞれ素敵な本がないか、手にとって熱心に読んだり選んだりしている様子でした。この日1日でおよそ3100冊の本が新しい持ち主に出会い、引越していきました。

今回リサイクル本として配布したのは、出版から年数が経過したものや、改訂版・新版が出版されて内容が古くなったものなど、図書館での役目を終えた本です。赤坂にある成田市立図書館の本館では、正面玄関付近にリサイクル本コーナーを常設しています。リサイクルフェアのような大規模なものではありませんが、リサイクル本をお持ち帰りいただけます。本館にお立ち寄りの際はご利用ください。



なかよしひろばコーナー

Children Space



今年も恒例のお子さんの絵や製作などの作品、なかよしひろばの紹介を展示しました。ひろばで描いた絵をリングに見立て、木の枝にたくさんの可愛い絵を実らせました。普段のひろばで作る季節の製作も飾られて賑やかでした。また、この春1年生になった子どもたちが、ひろば卒業の記念に作っていった大きな気球も飾りました。

展示とともに、手作りフェルトおもちゃの販売やフォトフレーム作り、赤ちゃん名札作りコーナーも出店しました。フォトフレームは土台に手作りの飾りをつけて完成。子どもたちが「こんなにたくさん可愛い飾りがつけられてスゴイ!」と喜んで作っていました。また、公津の杜なかよしひろば特製の赤ちゃん名札も、布製の土台に飾りとお名前をつけて完成。こちらは赤ちゃんのママたちが一生懸命作っていました。フェスティバル後、ひろばで赤ちゃんたちが可愛い名札を背負っている姿が見られます。

当日のなかよしひろばは食べ物屋台で買ってきた、おいしい焼きそばやカレーを親子で食べたり、うなり君やチーバ君と写真を撮ったとスタッフに報告してくれる親子もいて、お祭らしい1日となりました。



実行委員会、ボランティア

executive committee, volunteer



4月15日から6月15日までの2ヶ月間、「もりんぴあフェスティバル」の出演・出展・出店者の募集を受け付けていました。締め切りの段階で昨年度の48団体を大きく上回る62団体の申込みがありました。

出演・出展・出店者全員から成る実行委員会の会合が7月2日に行われました。会合では、副会長の挨拶のあと、各団体から意気込みを含めた自己紹介、フェスティバルの決め事の確認、ボランティアについての説明が行われました。

その後、部門ごとに別れ、部門長の選出、部門ごとの注意事項の確認、出演順の決定などが行われ、本番に向けて本格的に動き始めました。



今年度のフェスティバルも沢山の皆様にご協力頂きました。

前日の設営から、当日の遅くまで撤収に力を貸してくれた「なかよしひろばボランティアスタッフ」。前日には苗の袋詰め、当日には花苗プレゼントを担当してくれた「グリーンボランティア」。

入口で入館者数を計測してくれた「公津の杜小学校ボランティア」。

秘密の任務を果たしてくれた「国際医療福祉大学学生ボランティア」。(ヒントは「赤いアイドル」)

毎月お世話になっており、フェスティバルの日もフル回転して下さった「チャレンジランキングボランティア」。

そして「実行委員会ボランティア」は、駐車場入り口と、臨時駐車場の公津の杜小学校の校門で通整理を担って下さいました。

その他にも、もりフェス会場巡りクイズの賞品提供にご協力下さった団体など、様々です。

ご協力頂いたみなさま、ありがとうございました。



公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人：田村 修 編集：鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL 0476-27-5252 FAX 0476-27-5353

E-mail info-kozu@morinpiakozu.jp

HP <http://www.morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ
川口こうづ
MorinpiaKozu